

リスク度の分類

リスク度の分類は、将来 10 年間に狭心症や心筋梗塞が発症する確率に基づいています。

- 低リスク** 発症確率が 2%未満
- 中リスク** 発症確率が 2%以上 9%未満
- 高リスク** 発症確率が 9%以上

リスク度別にみた血中脂質の管理目標値

(mg/dL)

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値			
		LDL-C	non-HDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行ったあと、薬物療法の適応を考慮する	低リスク	<160	<190	<150	≥40
	中リスク	<140	<170		
	高リスク	<120	<150		
二次予防 生活習慣の是正とともに薬物療法を考慮する	冠動脈疾患の既往	<100 (<70)*	<130 (<100)*		

\* 家族性高コレステロール血症や急性心筋梗塞・危険度の高い狭心症がある人、糖尿病があり、かつその他の危険因子を重複して合併しているケースなどが該当。

出典：日本動脈硬化学会編『動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 年版』をもとに改変

動脈硬化リスクの評価のためのフローチャート

血液検査で「脂質異常症」と診断されたら…

狭心症や心筋梗塞を起こしたことはありますか？

いいえ

一次予防

はい

二次予防

次のどれかの病気がありますか？

- 糖尿病
- 慢性腎臓病 (CKD)
- 非心原性脳梗塞
- 末梢動脈疾患 (PAD)

はい

高リスク

いいえ

次の危険因子がいくつありますか？

- 喫煙
- 高血圧
- 低 HDL コレステロール血症
- 耐糖能異常 (境界型糖尿病)
- 早発性冠動脈疾患家族歴 (両親・きょうだいのうち、男性 55 歳未満、女性 65 歳未満で狭心症や心筋梗塞を発症した人がいる)

※性別、年齢、危険因子の個数に合わせてリスク度を評価する

性別	年齢	危険因子の個数	分類
男性	40～59 歳	0 個	低リスク
		1 個	中リスク
		2 個以上	高リスク
	60～74 歳	0 個	中リスク
		1 個	高リスク
		2 個以上	高リスク
女性	40～59 歳	0 個	低リスク
		1 個	低リスク
		2 個以上	中リスク
	60～74 歳	0 個	中リスク
		1 個	中リスク
		2 個以上	高リスク